

令和3年度第2回 新発田市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 令和3年7月20日（火）午後2時～午後2時30分

2 場 所 健康長寿アクティブ交流センター あおり館 屋内広場

3 出席者

委 員	所属団体・職名	備考
伊藤 純一会長	新発田市副市長	
加藤康弘副会長	新発田商工会議所 事務局長	
齋藤 亘委員	新潟交通観光バス（株） 新発田営業所長	
庭山奈津子委員	新発田市ハイヤー・タクシー協会会長	
武田 達也委員	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所計画課長	代理出席：計画課 滝澤専門官
高橋 秀典委員	新発田地域振興局地域整備部長	代理出席：計画調整課 神田課長
穴水 雄二委員	新発田市維持管理課長	代理出席：維持管理課 酒井係長
金塚 傑之委員	新発田警察署 交通課長	
小島 修委員	NPO 法人七葉理事長	
小野 孝男委員	新発田市自治会連合会	
渡辺 肇委員	川東地区自治連合会	
齋藤 啓一委員	松浦地区公共交通協議会	
島谷 尚之委員	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局首席運輸企画専門官	
吉田 誠吾委員	新発田地域振興局企画振興部長	代理出席：地域振興課 河村課長
早川 英雄委員	日本労働組合総連合会新潟県連合会下 越地域協議会事務局長	代理出席：久志田特別 役員

事務局（市民まちづくり支援課）
渡邊誠一課長、太田貴輝室長、田中俊介係長、蒲木みゆき係長、天野なつみ主事、小田切達也主事

4 会議概要

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

本日は、御多用の中、お集まりいただきありがとうございます。先月に続き、今年度第2回目であるが、ご了承願うとともに、本日もよろしくお願いいいたします。

この1か月足らずで新型コロナウイルスによる影響も変わり、また、今週末から東京オリンピックも開会ということで、毎日の報道を見ると皆さまも同じだと思うが、関心事や気持ちが、色々なところに揺れてしまう感じがしている。

さて、そんな中であり、本日は10月の運行を目指して今年の春から地域の皆さまと協議を進めてきた、豊浦地域の公共交通見直しの運行計画が固まりましたので、ご審議をお願いしたいと思っている。

以前に、この豊浦地域の公共交通は、今年4月の学校統合に合わせて見直しを完了することとされて進められたところであるが、市全体の公共交通利用者の減少と運行経費の増加などから、当市全体の今後の方向性を再検討する中で少し滞った経緯がある。

市の方向性に基づく定路線迂回型運行の新発田版デマンド方式を一部組み込んだ新たな展開として、地域に受け入れられる運行になる期待をしているところであるため、本日のご審議もよろしくお願いいしまして、ご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいいたします。

(3) 議 事

○議長

まずは、本日の会議であるが、規約第9条第2項の規定により、過半数以上の委員の皆様から出席いただいているため、会議が成立していることをご報告申し上げます。

【第1号議案】豊浦地域公共交通の運行見直しについて

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・地域と協議を重ね、運行計画がまとまった。
- ・運行変更日は10月20日（水）を予定
- ・運行ルートは現行路線を運行する豊浦地域コミュニティバス「本田・天王号」と新規ルートになる豊浦地域予約制乗合タクシー「中浦・荒橋号」の2ルート
- ・「本田・天王号」は定路線迂回型運行で「中浦・荒橋号」は完全予約制の運行とする。
- ・新発田駅から概ね5キロを目安に境界を設け利用料金に100円の違いを設定する。
区域内は200円、境界を超える場合は300円とする。
- ・運行日は年末年始を除く平日のみ
- ・運行便数は1日4便
第1便と第4便は学生の通学利用を考慮して「新発田営業所」を発着、第2便と第3便は買い物支援等の対応のため、「西新発田駅」を発着とする。
- ・予約締切時刻は午前の便は前日まで、午後の便は当日運行開始の1時間前までとする。

- ・運行車両は「本田・天王号」は 14 人乗りの通勤用バス、「中浦・荒橋号」は 10 人乗りのジャンボタクシーを予定

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【報告 1】バス位置情報システムの拡大と IC カード決済システムの導入について

主な説明内容は以下のとおり。

- ・位置情報発信システム「バスどこ」を市街地循環バス以外にも拡大する。
- ・利用者からリアルタイムでの情報発信、支払い方法の統一（前払い・後払い）、IC カードやパスの導入が求められている。
- ・システム拡大により、バス待ちの不安解消、利用データの集積による集計・分析、利便性向上につながる。
- ・対象路線は市街地循環バス（あやめバス）、川東コミュニティバス、まつうら号、新発田市コミュニティバス（菅谷・加治地区）
- ・バスどこの拡大は 9 月にテスト運用、10 月に本格導入する。キャッシュレスシステムは 10 月以降にテスト運用、来年の 1 月から本格運用を目指す。
- ・キャッシュレスシステムの仕組みは GPS を利用している。乗車時に専用 IC カードをかざし、降車時にもかざすことで、場所を比較して料金を IC カードから支払う。スマートフォンの場合は QR コードを利用する。
- ・IC カード等への料金チャージは対応窓口で現金により行う。

○委員

どこのシステムを使うのか。

○事務局

今あやめバスで位置情報システムを(株)新潟通信サービスに設計、運用を委託している。それを拡大するというので同じく(株)新潟通信サービスに設計を委託している。

○議長

豊浦地域の公共交通は対象路線に入っていないが、今後導入予定はあるか。

○事務局

既存で走っている路線をカバーした後に次の計画として、豊浦地域の導入を予定している。今回このシステムを初めて導入することになるが、運用していく中で不具合等を改善して豊浦地域の方に導入をしていきたい。

【報告2】あやめバス情報発信モニターの設置について

主な説明内容は以下のとおり。

- ・あやめバス利用者に行政情報や地元企業情報を提供するために設置する。
- ・設置期間は令和3年11月1日から令和8年10月31日まで
- ・行政情報は最大6枠、広告は24枠
- ・委託事業者は「表示灯株式会社」 新発田市のホームページで公募をした。
- ・当協議会の費用負担はなく、広告掲載料から年額150,000円を納入してもらう。
- ・広告の募集範囲は新発田市内の事業者、医療機関を優先する。
- ・現在もあやめバスは広告を募集、掲載しているがその委託事業者である(株)新交企画や運行事業者の新潟交通観光バス(株)からは了承をいただいている。

5 その他
特になし

6 閉 会